

発育健康学特論（選択・講義2単位）[教職（保健・養護教諭）必修]

小林 正子

【授業の到達目標および概要】

ヒトの発育段階から健康を考えることは健康学（保健学）の基礎である。そこで、発育・発達、加齢に伴う身体変化について理解し、その視点から健康課題を考え、科学的根拠のある健康教育や対策について検討できる能力を培う。

【授業計画】

- ① Introduction（ヘルスプロモーション:世界と日本の動向）
- ② 発育段階と健康(1) 成長曲線（発育グラフ）を用いた検討
- ③④ 発育段階と健康(2)
- ⑤⑥ 様々な健康課題の検討(1)(2) 論文講読を含む
- ⑦⑧ 様々な健康課題の検討(3)(4) 論文講読を含む
- ⑨⑩ 発育発達から考える生涯の健康づくり(1)
- ⑪⑫ 発育発達から考える生涯の健康づくり(2)
- ⑬～⑮ まとめ

【授業外学習】

本や論文、インターネット、新聞やテレビ、ラジオなどから得た子どもや健康に関する情報で興味あるものをメモしておくこと。授業で使用する場合もある。

【成績評価の方法・基準】

出席状況、態度、発表等によって評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

その都度紹介する。

【教材】

資料を用意する。